

26PA-am004

九州の中山間地域におけるサフラン栽培－竹田式サフラン栽培法と露地栽培のサフラン開花および収量への効果－

○渥美 聡孝¹, 西腹 麻希¹, 大塚 功¹, 垣内 信子¹ (¹九州保福大薬)

【目的】サフランは第十七改正日本薬局方に収載され、サフラン (*Crocus sativus* L.) の柱頭と規定している。国内で使用されるサフランのほとんどがイランやスペインでの露地栽培品を輸入しているほか、中国からも少量が輸入される。国内最大のサフラン生産地は大分県竹田市であり、竹田市はサフラン球茎を棚上げして暗い室内で開花させる方法（竹田式サフラン栽培法）を採用している。この竹田式サフラン栽培法によって光に弱いクロシンの分解を抑え、良質なサフランを生産できると考えられているが、同一産地で室内開花と露地栽培を行ってその品質について比較した報告はない。我々は竹田式サフラン栽培法と露地栽培がサフランの品質に与える影響を明らかにするため、以下の実験を行った。

【方法】九州保健福祉大学薬学部附属薬用植物園にて系統保存していたサフラン球茎を用いた。竹田式サフラン栽培法と露地栽培の特性から、薬用植物園倉庫の軒下に直射日光が当たる棚「日光区」と、日陰に寒冷紗で覆った棚「暗室区」を用意した。それぞれの区に対して球茎を棚上げた「棚上区」と土に植えた「定植区」を設け、「日光の有無」と「土の有無」が異なる四つの試験区を設置した。定植区には週一回の水やりを行った日光区と暗室区の気温・湿度・照度を測定するため、照度 UV レコーダーを設置して記録した。また、定植区は地温と水ポテンシャルを測定するため、水ポテンシャルセンサーを導入して記録した。測定項目は花芽の長さ・柱頭の長さ・柱頭の重量（湿重量・乾重量）・花の大きさとした。

【結果・考察】花芽の長さは暗室・定植区が最も長く、次いで暗室・棚上区が長かった。日光区は棚上区・定植区ともに 0.5～4 cm で花芽の伸長が止まった。柱頭の長さや柱頭の重量等については現在検討中である。